

鉦起銅器の技術で楽器を作る

県内初となる楽器メーカー「響楽舎」^{きやうがくしや}を設立し、ハンドパン^{*}を製作している時田清正さんを紹介します。燕の高い金属加工技術を求めて茨城県から移住。ハンドパンにかかる情熱やこだわりをお聞きました。



「ハンドパンは、空間的でフワっとした優しい独特な音色が特徴です。今後は、演奏会やワークショップをたくさんやりたいと思っていますので、皆さんに触れてもらえたらうれしいです」

時田さんとこの楽器の出会い、高校時代の友人でもあるハンドパン奏者の演奏を聞いたことがきっかけでした。

「私は元々、別の楽器を演奏していたのですが、見た瞬間に不思議な楽器だと思いました。当時、国内では1人しか作れないと聞き、自分も作ってみたいと思ったんです」

友人に連絡すると、燕ならいいものが作れるかもしれないと聞き、すぐに移住を決めます。

「基本的な構造は、ステンレスの板を叩いて成型し、チューニングした上下

を張り合わせるというとてもシンプルなものです。だから難しい。音に関することは分かりませんが、金属のことは素人に近いので、師匠である職人の渡邊さんに教えてもらい、鉦起銅器の技術を駆使しながら試行錯誤しています。

100台近く作ってきて、やっと納得のいく音が出るようになってきました」

手探りで製作を続ける時田さん。

「作れば作るほど本当に不思議な楽器だと感じています。奥が深すぎて、一生かかっても理想のものではないかも知れません。でも、理想のハンドパンを作ることがゴールじゃないんです。ハンドパンが生活の中に溶け込み、皆が楽しくなれるような平和な空間を作れる存在になればいいですね。目標に向かって探求を続けていきます」

ときた きよまさ 時田 清正さん (杉柳)

●ハンドパンクリエイター



響楽舎 Instagram
(演奏や制作の様子は
こちらから)



時田さんが師匠と慕う鍛工舎の渡邊和也さん(写真右)と二人三脚で製作を進めています。

※ハンドパン…20年ほど前にスイスで誕生した楽器で、素手で叩いて演奏する。欧米を中心に人気が拡大している。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



先月「燕応援フェニックスクーポン第4弾」を各ご家庭に郵送しました。新型コロナウイルス禍で停滞している市内経済を活性化することが目的です。ぜひ有効にご活用ください。

燕市ではこれに加え、最近の物価高騰による市民生活や経済活動への影響を緩和するため、水道料金の基本料金を、7月検針分から翌年2月検針分までの8カ月間、全額減免することとしました。

さらに、住民税非課税世帯等に対する助成金の交付や小中学校・保育園等の給食費について、食材の価格上昇に伴う保護者負担相当額を支援する措置等も実施いたします。

◀こちらは有料広告です。

おかげさまで 県央エリアご利用 **11,000** 世帯

高速光インターネット

NCT 光

好評受付中!

インターネット 300Mbps + ケーブルテレビ + 固定電話

光おとく割 キャンペーン 月額 **6,600**円 (税込)

※NHK受信料は含まれていません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。
※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話 **エヌ・シー・ティ** **0120-080-009** 電話受付時間 **9:30~17:30** (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。